

Council of Social Welfare

大 淀 町

えがおで介護
こころのネットワーク
あんしんサポート

社協だより

平成28年
1月号



赤い羽根共同募金
街頭募金の風景



発行所／社会福祉法人 大淀町社会福祉協議会

〒638-0821 大淀町下淵1223番地 TEL 0747-52-1941

社協だよりは、共同募金の配分金により作成しております

新年のご挨拶を

申し上げます



大淀町社会福祉協議会
会長 岡下 守正

新年あけましておめでとございます。

皆様方におかれましては、平成28年の新春を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素から社会福祉活動の推進にご協力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、大淀町社会福祉協議会に於きましては、「大淀町地域福祉活動計画」(第2次おおよどアクションプラン)を実行に移していく年となります。本計画を基本に、地域福祉事業の担い手として、誰もが安心して暮らせるふくしのまちづくりを推進するため、社会福祉協議会をはじめ関係機関の皆様のご協力をいただきながら、繋がり支えあえる地域福祉の仕組みづくりに取り組んでいるところであります。

本年も明るい地域社会実現のため、社会福祉協議会職員一丸となり地域福祉の仕組みづくりに向け、一層の努力をして参りますので、皆様の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして実り多き年でありますようにご祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

平成二十八年一月

共同募金の報告

例年10月1日から12月31日まで、全国一斉に行われている「赤い羽根共同募金」が今年も実施されました。運動期間中、様々なご支援いただきました皆様には心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございます。

また歳末たすけあい募金は各区長さんの協力を得て、募金を呼びかけました。在宅寝たきり老人、在宅心身障害者(児)の方々に、安心して新年を迎えられるよう、民生児童委員さんを通じて、皆様からお寄せいただいた善意を、お届けさせて頂きました。

H27年度赤い羽根共同募金額

平成27年12月1日現在

募金の種類	金額
戸別募金	1,481,705円
街頭募金	68,553円
職域募金	121,200円
学校募金	5,000円
合計	1,676,458円



街頭募金の様子



『梨コン in 大淀』開催しました!!

9月27日(土)福神中央公園にて、大淀梨祭り実行委員会主催の「大淀梨祭り2015」と共催の元、「梨コン in おおよど～恋のおもてなし2015～」を開催しました。当日は、男性29名、女性28名の参加があり、ゲームやフリータイム、梨狩りなどの楽しい時間を過ごされました。また、大淀町内のお店にもご協力をいただき、今回のために作って下さったスイーツやクッキー、お土産の梨と大淀町の魅力をたくさんの方に知っていただけたと思います。

最後は投票形式による発表により、カップルは9組誕生しました。

今後も、「出逢い」や「地域の活性化」をはかるためのイベントを通して大淀町の良さを知ってもらえるような企画を考えていきます。



病院ボランティア養成講座を 開催しました!!



11月21日(土)、28日(土)、12月5日(土)に病院ボランティア養成講座を行いました。町内及び近隣市町村より16名の参加申し込みがありました。

1日目は、日本病院ボランティア協会により「病院ボランティアの在り方」について講義をいただき、受講者の方々は活動に対しての不安やあるところを活発に質問されていました。

2日目は「介護基礎実習」で、利用者に対しての声かけや介助の方法について実習されました。

3日目は病院ボランティアとして活動する上で最も大切な「傾聴」について講師から、相手が話したいこと、伝えたいことを受容的・共感的な態度で「聴く」技法を教えて頂きました。

3日間の講義の中で受講者は、南奈良総合医療センターでボラン

ティア活動に取り組むために必要な技術や知識を学ばれ、ボランティア活動への理解を深められました。今後は、新病院の開業に向けてボランティアグループ(班編成)をつくり、新病院でのボランティア活動の体制を南和広域医療組合、社会福祉協議会と共に整えていきたいと思っております。



講座の様子

あんしん メール

～ 頼れる地域のサポーター～

2025年には700万人を超え65歳以上の高齢者のうち5人に1人が認知症患者との推計が厚生労働省から発表されています。

認知症の原因の約6割を占めるアルツハイマー

1. 食習慣：野菜・果物（ビタミンC、E、βカロチン）、魚（DHA、EPA）をよく食べる。赤ワイン（ポリフェノール）を飲む。
2. 運動習慣：週3日以上の有酸素運動をする。

3. 睡眠習慣：30分未満の昼寝、起床後2時間以内に太陽の光を浴びるなどが挙げられます。寒い時期、体調を崩さないことが一番です。気を付けて冬を乗り切りましょう。

4. 知的行動習慣：文章を書く・読む、ゲームをする、趣味の活動をするなど。

5. 対人接触：人と良くお付き合いをしている。

みなさんこんにちは。今回は認知症になりにくい生活習慣についてご紹介させていただきます。

型認知症の発症に、生活を取り巻く環境の影響が大きくかわっているとされています。

「家族介護者教室」や「出前講座」などでもお話ししますので、お気軽にご相談下さい。

「あんしんサポーター」は（地域包括支援センター）

「あんしんサポーター」は（地域包括支援センター）

「あんしんサポーター」は（地域包括支援センター）

認知症予防 生活習慣について



たくみ 匠 ～地域で輝く元気人～

今回は伝統文化活性化ボランティア団体「おおよど語り部の会」代表の森本さんを紹介しします。



森本 悦子さん (南大和)

森本さんは、歴史や伝統文化の復興や活性化を目的に町内に残っている古墳や歴史名所巡りの案内ガイドのボランティア活動をされています。町内の歴史文化の紹介を通して、参加者に大淀町の良さを知ってもらい、郷土愛を育む実践をされています。また、子どもたちに良き伝統文化を伝えるため「ふるさとカルタ」を使って世代間交流も行われています。

匠のひと言

「おおよど語り部の会」ではおおよどふるさとカルタを使い、語り部の会独自の方法で大淀町の歴史や文化の紹介も行っています。現在、「続・ふるさとカルタ」を作成中です。故郷を愛する味のあるカルタが出来上がることを楽しみにして頂ければありがたいです。最後に「おおよど語り部の会」では、語り部さんを募集しております。一緒に大淀町内の伝統文化の継承の活動を行いませんか？



なかで
中出司法書士事務所
大淀町土田二八四一九 ライフ・コーナン横
JA西部支店前
☎0747(五二)六五七七

各種登記のことなら(相談無料)

あどがき
明けましておめでと
うございます。
新しい一年が始まりました。本年も様々な情報をお伝えしていきますのでどうぞよろしくお祈りいたします。
皆様にとって今年もよい一年になりますように(´▽｀) (´▽｀)